

意 見

1 卸売市場を取り巻く環境

大阪府中央卸売市場（以下「市場」という。）を取り巻く環境は、近年の少子高齢化による食料消費の減少や消費・小売形態の変化、消費者ニーズの多様化等により、昭和 53 年の開設当時と比べ、大きく変化し、バブル崩壊以降、市場の取扱数量は年々減少傾向にある。一方で、市場の施設は老朽化し、今後市場を開設し続けるに当たっては、多額の設備投資が見込まれている。

このような中、平成 22 年 2 月の府戦略本部会議において、民間の活力やノウハウを導入しながら市場の活性化を図り、流通構造の変化に対応した「競争力のある総合食料物流基地」を目指す方針が示された。

平成 24 年 3 月には、開設者である府だけでなく、指定管理者や市場内業者等の市場関係者が一体となって市場運営の活性化に取り組むための指針として、「競争力のある市場をめざして～大阪府中央卸売市場 経営展望～〔中期経営計画(平成24年度～平成28年度)〕」（以下「経営展望」という。）を策定し、同年 4 月、市場経営の効率化と市場活性化を目的として指定管理者制度を導入した。

なお、地方公営企業法施行令等が一部改正されたことに伴い、当年度より改正後の地方公営企業会計基準（以下「新会計基準」という。）を適用している。

2 取引状況

平成 26 年度における市場の取扱数量は 278,182 トン（前年度比 0.5%の減）、取扱金額は 966 億 7,300 万円（前年度比 3.5%の増）となった。青果・水産それぞれの取扱数量・金額を見ると、青果物については、取扱数量は 228,748 トン（前年度比 0.3%の減）、取扱金額は 544 億 3,400 万円（前年度比 1.5%の増）、水産物については、取扱数量は 49,434 トン（前年度比 1.8%の減）、取扱金額は 422 億 4,000 万円（前年度比 6.2%の増）となった。平成 26 年度は、市場外流通を利用した取引が増加したこと等により前年度比（前年度は 6 年ぶりで増加）で取扱数量が減少したものの、青果・水産物の収穫・漁獲量の減少及び円安の影響で取引単価が上昇したことにより取扱金額が昨年に引き続いて増加した結果となった。

3 経営状況

(1) 市場会計の経営状況

指定管理者制度導入後 3 年目となる平成 26 年度の事業収益は、指定管理者へ設備改修工事等を委託したことにより、指定管理者からの納付金が 6,700 万円減少したものの、当年度から新会計基準が適用されたことにより、長期前受金戻入が 1 億 4,800 万円及び

特別利益が2,900万円発生したこと等から、1億600万円増加(前年度比14.5%増)し、8億3,700万円となった。事業費用は、市場管理費が4,200万円減少したものの、固定資産関係で減価償却費及び資産減耗費が1億5,000万円増加、新会計基準の適用に伴い特別損失が1億400万円発生したこと等により、2億1,200万円増加(前年度比22.0%増)し、11億7,500万円となった。その結果、当年度純損益は3億3,900万円の赤字(前年度は2億3,300万円の赤字)となった。

市場は昭和53年の開設から37年が経過し、施設設備の経年劣化に対応した機能維持や耐震補強、改良のための大規模改修工事として、平成20年度から平成28年度まで総額約30億円が必要であるとし、平成26年度までに16億円が実行され、平成27年度以降14億円の支出が予定されている。

(2) 指定管理者を含めた市場全体の経営状況

市場全体の決算をみると、新会計基準の適用に伴う長期前受金戻入が1億4,800万円及び特別利益が2,900万円発生したこと等により、前年度と比べ収益は1億7,700万円増加した。一方で、市場管理費が1,500万円増加、新会計基準の適用に伴い減価償却費及び資産減耗費が1億4,800万円増加、特別損失が1億1,900万円発生したこと等により、前年度と比べ損失が1億800万円拡大し、当年度損益は市場全体で3億3,900万円の赤字となった。これらの新会計基準の適用による影響額を除いても、当年度損益は2億4,800万円の赤字となり、前年度と比べ損失が1,700万円拡大している。

経営展望に示された収支計画(2億4,000万円の赤字)と比べ、損失額は拡大している。その主たる要因は、光熱水費単価等の上昇による雑収益の増加及び新会計基準の適用に伴う長期前受金戻入の計上があったものの、修繕費及び活性化対策費等の増加や、新会計基準の適用に伴う減価償却費及び資産減耗費の増加等による。

【参考】当期利益比較(特別損益を除く) (単位:百万円)

| | 平成24年度 ()は計画額 | 平成25年度 ()は計画額 | 平成26年度 ()は計画額 |
|--------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 中央卸売市場 | △143 | △233 | △264 |
| 指定管理者 | +53 | +2 | +16 |
| 合計 | △90(△237) | △231(△256) | △248(△240) |

注: 計画額は消費税込の数値のため参考数値

(3) 今後の課題

市場の活性化を目指して導入した指定管理者制度は、市場施設の改善という面では一定の成果を上げている。しかし、市場取扱高の増加という本来の活性化は未だ達成できていない。また、市場施設の老朽化による改修や修繕にはこれからも一層の対応が必要と考えられる。今後の事業活動においては、指定管理者や市場内業者等の市場関係者と一体となって集荷力・販売力の強化や市場内施設の利用拡大など市場活性化に引き続き取り組む必要がある。